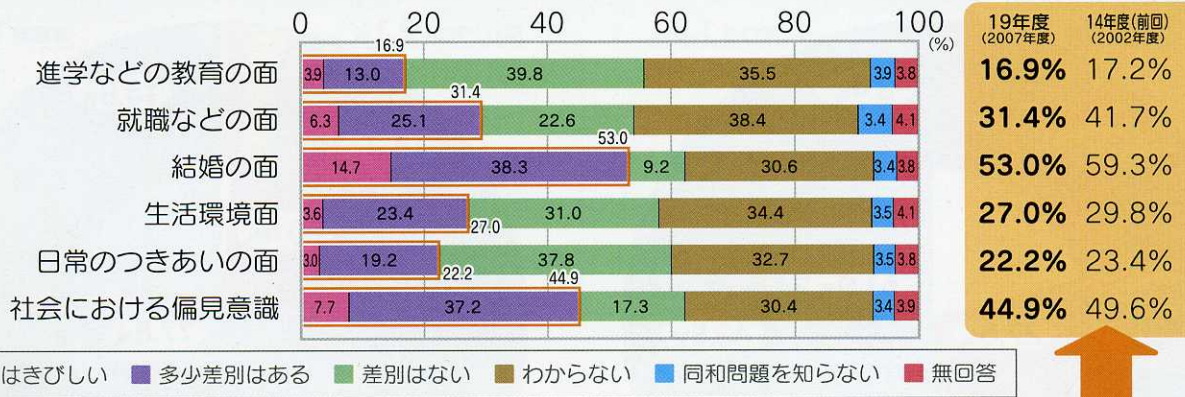


様々な人権問題について

問 同和問題について、いまなお差別があると思うかどうか



「差別はきびしい」+「多少差別はある」

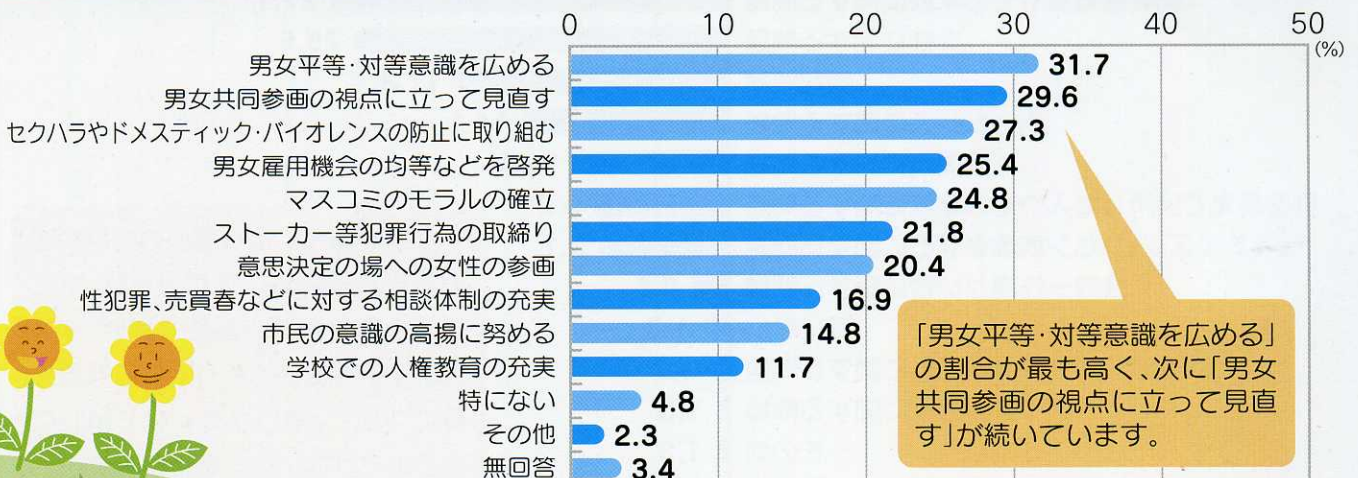
差別が残っているという認識「差別はきびしい」+「多少差別はある」については、前回より減少傾向にあります。しかし、「結婚」「社会における偏見意識」「就職」の面などでは、現在も高いことがうかがわれます。

問 同和問題解決への望ましい方向性(3つまで選択)



「小・中学校などで正しい知識を教える」の割合が最も高く、約5割となっています。

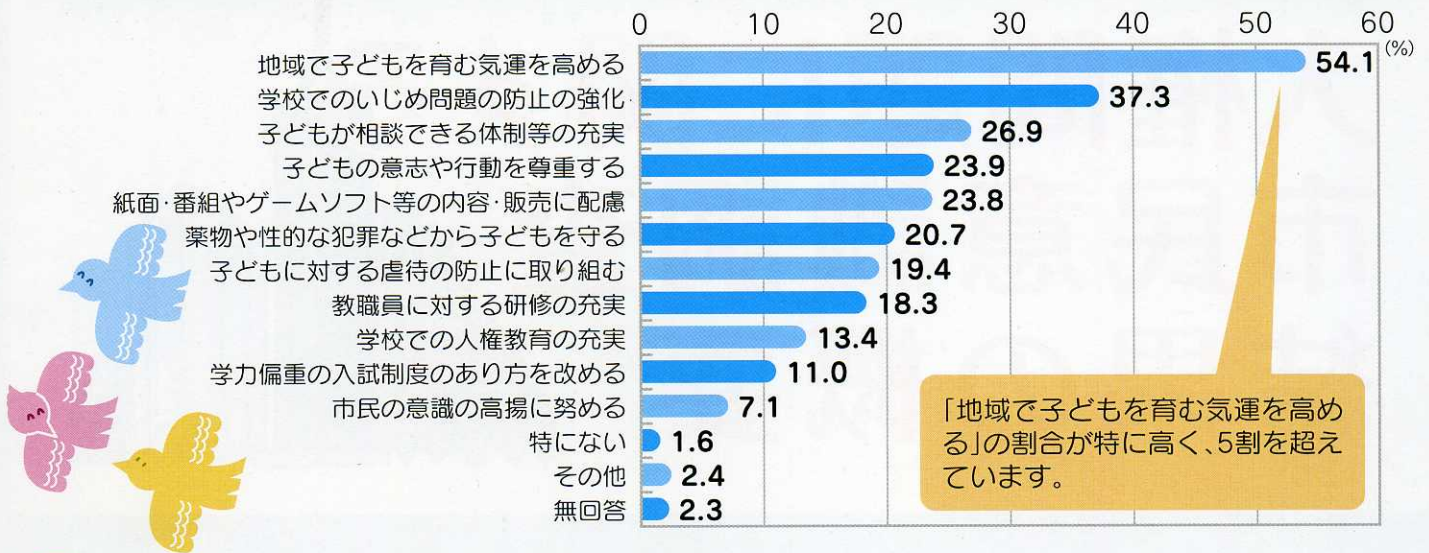
問 女性の人権を守るために必要だとと思われること(3つまで選択)



「男女平等・対等意識を広める」の割合が最も高く、次に「男女共同参画の視点に立って見直す」が続いています。



問 子どもの人権を守るために必要だと思われること(3つまで選択)



問 高齢者の人権を守るために必要だと思われること(3つまで選択)



問 障がい者の人権を守るために必要だと思われること(3つまで選択)



